

toVO トヴォ

PLUS

www.tovo2011.com

SEASON 4

No.036 - 100号まで、残り64家族、64ヶ月



NO. **036**

あもりの100家族、わたしたちのこれから。

20150311





今号（37家族目）のご家族▶

工藤 広太さん・あゆみさん・愛那（えな）ちゃん

撮影場所▶ 青い海公園（青森市）

●2011年3月11日のこと、憶えていますか？

▶広太さん「当時は青森市内の葬儀場の館長をしていて、その日葬儀の予定がありました。お客さんを待っているときに震災が起こり、外に出たら、車もみんな止まっていて、供花のスタンドがすごく揺れて、押さえるのに大変でした。その後はお客さんとも会社とも連絡がつかなくて。だんだん暗くなってきて、近所の人がろうソクを分けてほしいと訪ねて来たんです。自己判断でお分けしたら、『あんた神様だじゃ』って。その後、お客さんも来て、お寺さんも来て、電気がつかないのでろうソクをたくさん点けて葬儀をしました。」

▶あゆみさん「私はアパートに1人でいました。地震が起きてすぐ、まだ揺れている最中に広太さんに電話をして、つながった状態で10分ぐらい話せたんですけど、その後、もう1度かけなおしたら全然つながらなくて。発生から1時間後ぐらいにお義母さんから『うちに来ない？』と電話がきて、甘えさせてもらいました。お義母さんとお義兄さんが一緒に迎えに来てくれて、車のテレビで、八戸の津波の状況などを見ました。『こんなにひどいんだ』って。広太さんは21時過ぎに帰ってきました。義理の実家が近くて本当によかった。そうでなければ広太さんが帰ってくるまで1人で待つのはしんどかったと思う。自分の実家は十和田だし。もし当時子どもがいたら、パニックになっていそう。」

●震災を経て、変化はありましたか？

▶あゆみさん「避難場所は確認したよね。市民センターにいるからって。」

▶広太さん「そうだった？（笑）」

▶あゆみさん「それか近所のスーパーの駐車場にいるから、何かあって連絡がとれなくなったらそこに迎えに来てねって...憶えてないみたい（笑）防災グッズもそろえて、リュックに入れておいたんだけど、年月がたつにつれて片付けちゃったな...。あと、隣近所の人と仲良くなるうと思いました（笑）。義理の実家とも携帯が繋がらなきゃ連絡がとれなかったわけだし、何かあったときに頼る人がいないと。テレビの子育て番組などで、災害に対する備えの内容の回など、前は全然興味なかったけど、震災後はそういうのも意識して見るようになりました。情報を得ておかないとと思って。」

▶広太さん「節電もすごく意識するようになったよね。それは習慣になって続いています。」

▶あゆみさん「福島市に友達がいて、震災の年の7月に現地で結婚式を挙げたんです。私は親友だ

ったし、友人代表だったので行きましたが、原発事故の放射線が気になるからと、結婚式に出席しない人もいました。福島はすごく敬遠されていて、それがショックで。だから原発をなくしてほしいくて、節電をして、少しでも使い過ぎをなくそうと。」

●心情的な面では？

▶あゆみさん「いつ何が起こるか分からないので、朝の『いってらっしゃい』で最後になるって毎日覚悟して、お見送りをしようって。震災前は、バタバタしてお見送りをしない日もあったよね。」

▶広太さん「本当にそれきりにならないように、1日1日ちゃんと生きようっていうのはあります。子どもができてからより思うよね。」

●10年後はどうなっていると思いますか？

▶あゆみさん「子どもがもう1人生まれて、1軒家に住んでたらいいな（笑）。平凡な幸せでいいので、家族みんな健康で生きたい。」

▶広太さん「個人的な夢は、コーヒーが好きで、昨夏から講座に通って勉強していて、将来カフェとかやれたらいいなど。青森から何か発信できるような、青森の人が集まれるような場所を作りたい。」

▶あゆみさん「自宅で開業が夢なんですよ。」

▶広太さん「震災に関しても忘れないのが1番だよね。（愛那ちゃんを見て）知らない世代がもういるわけだし。いつでも自分の身には起こるんだと、ちびちゃんにも伝えられたら。」（終）

【取材後記】

広太さんとあゆみさんは、震災のあった2011年の10月に挙式されました。青い海公園はウエディングフォトの野外ロケをした思い出の場所。取材当日は1歳4カ月の愛那ちゃんと一緒に訪れました。あのころ、「夫婦」になったばかりの二人が、子どもが生まれて「家族」になる。その子が成長して一。時間の経過を感じさせられます。“あの日”は少しずつ遠くなるけれど、「あの日、どうしてたっけ」と思い出す＝忘れない。tovo plusはその力を持っています。（今号No.036の撮影とインタビュー担当者：前田 ふひと）

【寄付総額】2011年6月～2015年2月28日まで「¥3,004,713」を、あしなが育英会「あしなが東日本大震災遺児支援募金」へ寄付することができました。ご支援に深く感謝致します。

【定期購読のご協力を!】1年間の定期購読を承ります。1,800円(送料・寄付含)／1年間(12号)です。このフリーペーパーは定期購読の皆様のご支援で発行されております。ご支援の程、宜しくお願い致します。ご希望の方は、ウェブショップ (<http://shop.tovo2011.com>) よりお申し込みください。

